



理念	現場運営	知識	合計
／16	／18	／66	／100

所属施設： 所属部署： 受験番号： 氏名：

ケアマイスター試験を受ける前に

ケアマイスター制度には、スタッフ 1 人 1 人に「自ら考える力を身につけてほしい」という思いが込められています。そのため、問題には自由記述で解答するものが含まれています。できる限り自分の考えを書き込めるように、問題文にしっかりと目を通し、時間配分を意識して試験に取り組んでください。

《法人理念に関する問題》

ケアマキスが求める職員に『質の高いケアをめざし、自らの成長をめざす人』の考え方にに基づき、以下の問題に答えなさい。

介護現場における人材育成は、職員のスキル・モチベーションアップはもちろん、ご利用者にも大きなメリットを生み出します。ケアマキスでも来たるべき人材不足を危惧し、介護現場における多様な働き方や教育制度の一環としてケアマイスターなどを導入しています。

1.あなたは特別養護老人ホームで働く4年目のスタッフでマイスターはゴールドクラスを取得しています。

今回ケアマイスターのブロンズ試験対策研修会が開催されることになり、あなたの後輩で昨年入職した無資格のAさんも参加するよう指示がありました。Aさんは入社当初こそ進んで質問したりと比較的前向きで、指導に対しても飲み込みが早く期待できるスタッフでした。しかし最近では様々な場面で批判的・マイナス的な発言が多く、現場でも「目が離せない利用者ばかり」「仕事が忙しい」「ケアマイスターは意味がない」といった発言を繰り返しています。

（１）マイナス発言や批判的な意見を繰り返す A さんですが、現場にどのような悪影響を与えと考えられますか。2 つ答えなさい（2×2）

・

・

（２）あなたはAさんの指導担当になりました。指導担当としてAさんを以前のように前向きで特養で活躍できるスタッフにしていきたいと考えています。そこであなたがAさんを教育・指導を行っていくにあたり、どのような取り組みを実施しますか。2つ答えなさい（2×2）。

・

・

（３）あなたは指導担当としてAさんと関わっていくうちにAさんから「介護の仕事は好きでもっと成長したい」「将来は介護福祉士の資格を取りたい」といった話を聞くことができました。Aさんに対して成長や資格取得を踏まえたマイスター制度の意義を3つ説明してください（2×3）

・

・

・



(4) ケアマイスターの意義を説明された A さんより「有意義な制度であることはわかりました。〇〇さん（あなた）はケアマイスターの資格を取ることで得られるものはありましたか？」と質問がありました。あなた自身が経験したエピソードを交え、スタッフに伝えなさい。（配点 2）

--

《現場運営に関する問題》

1. 事例を読み問題に答えなさい。

【事例】

あなたは特別養護老人ホームで看取り介護を担当している介護職員です。ご利用者の巻須さん（85 歳、男性）は、末期の慢性疾患を患っており、医師から余命が短いと診断されています。巻須さんは終末期ケアを希望し、家族もそれを望んでいます。最近、C さんの状態が急激に悪化し、食欲が低下し、意識も混濁してきました。巻須さんは苦痛を訴えることも増えてきましたが、医療的な介入を最小限に抑えたいと希望しています。

巻須さんの苦痛を軽減するために、どのような対応策を取りますか？「痛みの緩和」と「精神的なサポート」について具体的な方法を挙げてください（2×2）。

痛みの緩和：

精神的なサポート：

2. 日本は、マグニチュード 5 以上の大地震が発生しやすい地震大国と呼ばれる国です。地震は身近なものであり、いつ南海トラフ地震が起きてもおかしくありません。そのため、地震が起きた時のために、事業継続計画（BCP）を含む様々な準備をしておく必要があります。特に高齢者が多く利用する介護施設は、地震による被害が大きくなりやすいため、介護従事者は他の事業以上に入念な地震対策を行わなければなりません。地震発生時の避難を迅速に行い、二次災害を抑えるために必要な建物や設備の定期点検項目を、具体的に 2 つ答えなさい（2×2）

3. 施設運営における職員配置の考え方と業務の効率化について、以下の問題に答えなさい。（10）

【問題】

あなたは定員 60 名の特別養護老人ホーム「さくら苑」でリーダーを担っています。次の文章は、介護老人福祉施設の「人員に関する基準（基準省令第 2 条）」の介護職員または看護職員に関する基準を記したものです。

『介護職員及び看護職員の総数は常勤換算方法で、入所者の数が 3 又はその端数を増すごとに 1 以上とする。』

※常勤換算方法とは、従業員の勤務延べ時間数を常勤が勤務すべき時間数で除することにより、従業員の員数を常勤の従業員の員数に換算する方法である。

(1) 「さくら苑」では下記職員が勤務しています。この施設における介護職員または看護職員の常勤換算人数を計算しなさい。（配点 2）

常勤職員：15 名

非常勤職員の 1 週間の延べ勤務時間：360 時間

※1 週間あたりの常勤職員の労働時間は週 5 日×8 時間＝40 時間とする。

--



(2) 60 名の利用者に対して介護保険法の基準である 3:1 の職員配置としたとき、職員の常勤換算人数を計算しなさい。(配点 2)

(3) さくら苑では、有給取得 100%を目指しています。非常勤の有給取得率は 100%ですが、常勤職員の取得については、平均 3 日分が未取得となっています。100%を達成するためには、常勤換算法で何名の雇い入れが必要か答えなさい。(配点 2)

※1 か月の常勤が勤務すべき時間数を 160 時間として考える。

(4) 人材不足が続く介護業界全体にとって業務の効率化は必須です。残務ゼロや有給取得 100%達成に向けての対策を、新たな雇用以外で生み出そうと考えた時にどのような方法や対策があるか、その方法や対策と導入メリットを答えなさい。(配点 2×2)

方法や対策	
導入メリット	

≪知識問題≫

1. 現場で発生した事故の要因分析について、以下の問いに答えなさい。(10)

【問題】あなたは有料老人ホームでリーダーをしています。以下は 3 か月前に入職したスタッフ C から提出されたご入居者の事故報告書です。

山口様

90 歳、女性、要介護 2

脳梗塞の後遺症で軽度の右片麻痺がある。日常生活はほぼ自立で、夜間の排泄のみナースコールを押してもらい、付き添っている。認知症は年相応の物忘れ程度。

事故発生状況と対応	
5:30	巡回で居室に行くと、ベッド横の床にうつ伏せで倒れている。声をかけると「トイレに行こうとして、そこからは覚えていない」と話す。
5:40	体に痛みはなく、外傷もなかった。血圧 128/65 脈拍 70 体温 36.2℃ トイレ誘導、歩行状態問題なし。
5:50	「もう少し寝る」と朝食の 7 時半まで横になって過ごす。
7:30	朝食はいつも通り召し上がる。
事故の原因と再発防止策	
・巡回の回数を増やす。 ・ナースコールを必ず押すように何度も伝える。	

(1) スタッフ C から提出された再発防止策から、スタッフ C は事故の原因をどのように考えていると推測できますか。(配点 2)



- (2) (1) の内容では対策としては不十分だと考えられます。この事故の要因を「山口様の要因」、「スタッフの要因」、「環境の要因」にわけて仮説をたてることにしました。それぞれの要因について考えられることを答えなさい。(配点 2 × 3)

山口様の要因	例) ナースコールを押すこと忘れていたかもしれない。
スタッフの要因	例) 夜間でもナースコールを押すように伝えていなかったかもしれない。
環境の要因	例) 夜間巡回のマニュアルに不備があるかもしれない。

- (3) 事故防止、安全対策の取り組みについて、不適切なものを 2 つ選び、番号で答えなさい。(配点 1 × 2)

- ① 厚生労働省は 2021 年 4 月の介護報酬改定で、施設系サービスのすべてで安全対策担当者を選任することを義務付けた。
② 事故防止に向けて、ケアカンファレンスやサービス担当者会議で関係専門職と利用者や家族が参加し、生活リスクについてチームで情報共有・検討する。
③ 施設介護における安全確保のために、転倒リスクの高い利用者の社会参加については制限を設ける必要がある。
④ 介護事故の種類で多い順は、転倒、転落、誤嚥となっている。
⑤ 介護事故が発生した場合、市町村や家族などへの報告は任意で行わなければならない。

--	--

2. 終末期ケアについて下記の問いに答えなさい。(6)

- (1) 亡くなる前に現れる身体の変化を 2 つ答えなさい。(配点 1 × 2)

--	--

- (2) 死の直前の呼吸変化の 1 つとして、10 秒～30 秒ほど呼吸が止まり、浅い呼吸と深く大きな呼吸を繰り返す呼吸を何というか答えなさい。(配点 1)

--

- (3) 利用者と死別した家族に、精神的なサポートを行うことを何というか答えなさい。(配点 1)

--

- (4) 利用者の死にかかわった介護士や他職種が、対象のケースを振り返り話し合う「デスカンファレンス」を、ケアチーム間で開催することがあります。デスカンファレンスを開催する目的を答えなさい。(配点 2)

--

3. 高齢者に多い疾患について、それぞれ特徴の説明に当てはまる疾患名を記入しなさい。(配点 1 × 5)

①	神経伝達物質であるドーパミンの不足により起こる進行性の神経変性疾患。筋固縮や振戦など 4 大徴候がある。
②	筋肉を動かすための神経に異常が発生し、手・指など上肢の筋萎縮から始まることが多い。特定疾病の 1 つ。
③	冠状動脈が閉塞し、その先に血液がいなくなることで心筋の壊死、ポンプ機能の低下を引き起こすもの。
④	眼圧上昇などにより視神経が障害され、視野が狭くなる。進行すると失明する場合もある。
⑤	全身の関節に炎症を起こし、進行すると骨や軟骨が破壊され関節に変形が起こる疾患。女性に多い。



4. 介護過程について、下記の問いに答えなさい。(6)

(1) 介護過程とは、介護士が利用者の生活を支援する際の重要な手順です。次の5つのステップを適切な順番に並べなさい。(配点2)

1. 介護計画の立案
2. アセスメント(評価)
3. 実施
4. モニタリング(評価の実施後、必要な改善点の確認)
5. 計画の見直し

→	→	→	→
---	---	---	---

(2) 情報収集とアセスメントをする際に介護士に必要なこととして適切でないものを2つ選び、番号で答えなさい。(配点1×2)

- ①倫理観 ②観察力 ③推測力 ④先入観 ⑤固定観念

--	--

(3) 介護過程は客観的で科学的な思考と実践の過程であるが、なぜ介護過程を展開することが求められているか答えなさい。(配点2)

例：利用者が望む「よりよい生活」を実現するため

5. 介護保険制度について、下記の問いに答えなさい。(8)

(1) 各機関と主な役割について、正しい組み合わせのものを2つ選びなさい。(配点1×2)

- ① 国民健康保険団体連合会 … 介護報酬の審査・支払、苦情処理などの業務を行う
- ② 市町村長 … 居宅サービス事業者の指定者
- ③ 介護保険審査会 … 要介護認定・要支援認定の結果や、保険料の決定などに不服がある場合の審査請求機関
- ④ 介護給付費審査委員会 … 市町村の介護保険財政の安定化を図る
- ⑤ 都道府県知事 … 居宅介護支援事業者の指定者

--	--

(2) 介護保険について、()内の適切な語句に○をつけなさい。(配点1×4)

- ① サービス事業者は、(3年 ・ 5年 ・ 6年) ごとに指定の更新を受けなければならない。
- ② 事故報告書は(1年 ・ 2年 ・ 3年) 保管する義務がある。
- ③ 居宅サービスに含まれる福祉用具購入費は年間で(5万円 ・ 10万円 ・ 15万円) が対象となる。
- ④ 介護保険料は(1年 ・ 3年 ・ 5年) ごとに見直しが行われている。

(3) 要介護状態になることを予防するために市町村が実施している「地域支援事業」に該当するサービスを2つ選びなさい。(配点1×2)

- ①短期入所生活介護 ②訪問介護 ③訪問入浴 ④通所リハビリ ⑤通所介護

--	--

6. 次の成年後見制度の説明文①～④の()に適切な語句を記入しなさい。(配点1×4)

- ・法定後見制度には、対象者の判断能力に応じて、「後見」「保佐」「(①)」の3つの類型に分かれる。
- ・成年後見制度の開始手続きが可能な申立権者には、本人以外に(②)が認められている。
- ・後見人等の選任は(③)が行う。
- ・後見人等は判断能力が低下した本人に代わり、(④)等を行うことができる。

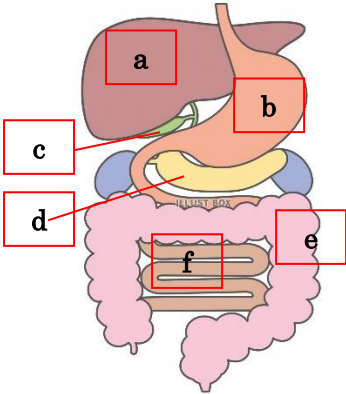
7. 専門職についての文章で間違っている箇所を線で引き、正しい文言を書きなさい。(配点1×4)

- ① 地域包括支援センターに配置される職種は主任介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士である。
- ② 理学療法士は、食事や歯を磨くなどの応用的な動作のリハビリテーションを行ったり、身体的機能だけでなく精神に対しても治療を行う。
- ③ 生活相談員は、訪問介護事業所において介護サービスの実施計画の立案を行う職種である。



④ 介護支援専門員の資格を取得するためには、保健・医療・福祉の法定資格を持ち、現場で５年以上の実務経験を経て、市町村長が実施する試験を合格しなければならない。

8. こころとからだの仕組みについて、下記の問いに答えなさい。（11）
（１）それぞれの消化器の特徴を読み、イラストから該当する記号を選び、かつ消化器の名前を書きなさい。（配点 1×3）



記号	消化器名	消化器の特徴
①		脂肪の消化を助ける胆汁を分泌する。
②		ランゲルハンス島をもち、インスリンなどのホルモンを分泌する。
③		十二指腸、空腸、回腸に区分される。腸液などの消化液により、栄養分が吸収される。

（２）I A D L (Instrumental Activities of Daily Living;手段的日常生活動作)に含まれる項目として、正しいものを２つ選びなさい。（配点 1×2）
①洗面 ②更衣 ③移乗 ④洗濯 ⑤買い物

--	--

（３）下記事例のＪさんは廃用性症候群の予備軍といえます。予防方法について専門職としてアドバイスしなさい。（配点 2）
【事例】Ｊさん(80 歳,女性)は腰椎圧迫骨折のため 2 週間入院し、10 日前に退院した。症状は軽快し現在はコルセットを使用しており、腰痛もない。ほかに持病はなく日常生活は自立している。近所に住む娘からは「昼間に様子を見に行くと、いつも横になっている」と言われている。

--

（４）食事のたんぱく質制限が必要な疾患として何があるか答えなさい。（配点 2）

--

（５）ボディメカニクスには 8 つの原則があります。そのうちの 2 つを答えなさい。（配点 1×2）

9. 認知症対応に関する事例について、下記の問いに答えなさい。（8）
【事例】

Ｈさん（78 歳、女性）は 3 か月前に転倒骨折し下肢筋力が徐々に乏しくなってきた。また同時期にアルツハイマー型認知症と診断されている。長年主婦として家事を切り盛りし、裁縫や編み物が得意であり、昔は着物の仕立ても行っていた。夫が亡くなり 3 か月ほど経った頃から夕方になると「夫が帰ってこない」と玄関先に座るようになり、夜中に夫を探して家中を歩き回るようになった。息子夫婦と同居していたが Ｈさんが夜間に家中を歩きまわるため、息子の嫁が、不眠が続き体調を崩してしまい、Ｈさんは特養に入所することになった。

（１）夕方になると、足早に荷物を持って外に出ようとする Ｈさんに対して、スタッフとしてどのように働きかければよいか答えなさい。（配点 2）

--

（２）息子が週 1 回程度面会に来るようになったが、認知症の進行を心配している。息子への働きかけとして施設スタッフとして正しい対応を答えなさい。（配点 2）

--



(3) 現在のHさんの食事形態は、副食にとろみがけの対応を行っている。どのようなリスクがある場合に、食事をとろみ食にする必要があるか答えなさい。(配点2)

(4) 軽度認知症障害といわれる認知症の一手手前の状態のことを、ローマ字でなんというか答えなさい。(配点1)

(5) 認知症のスクリーニング検査として用いられる1つで、年齢、日時、場所など9つの質問でテストをし、30点満点中20点以下で認知症を疑う検査の名称を答えなさい。(配点1)

10. 生活支援技術について、()内の適切な語句に○をつけなさい。(配点1×4)

- ① 腸管出血性大腸菌(接触感染 ・ 空気感染 ・ 経口感染)であり、下痢の症状などがみられる。
- ② 人は一般的に1日に約、(1000 ・ 2000 ・ 2500) mlの水分摂取が必要とされている。
- ③ 過ごしやすい生活の場づくりとして、車椅子使用の利用者宅の場合の通路は最低(70 ・ 85 ・ 95) cmは確保する。
- ④ 国際生活機能分類(ICF)に基づいて分類する場合、「歩く」ことは(心身機能 ・ 身体構造 ・ 活動 ・ 移動)に分類される。